## 安全管理措置報告書

調査項目	内 容
	株式会社アジア共同設計コンサルタント
1 業者名	☑横浜市競争入札有資格者 □その他(
	□横浜市出資法人(条例第 条)
2 業務の作業担当部署名	コンサルタント事業本部
3 業務の現場責任者役職名	担当技術者
4 業務の個人情報取扱者の人数	1人
	□Pマーク □ISMS
5 個人情報保護関連資格等	□その他の資格 ( )
	□個人情報関係の損害保険に加入
	☑個人情報の使用、保存、廃棄等に関する管理規程
	□個人情報漏えい・紛失・滅失・盗難等事故時の対応規程・マニュアル等
6 個人情報保護に関する社内規程等	□個人情報保護について従業員との雇用契約や誓約書等に明記
	□その他の規程( )
	□規程なし
   7 個人情報保護に関する研修・教育	☑個人情報保護に関する研修・教育を実施(年 <u>1</u> 回/従業員1人につき)
7 個八月和休慶に因り 3 切 10 · 秋月	□その他(
8 個人情報保護に関する点検・ 検査・監査の方法等	個人情報保管管理体制及び個人情報保護に対する対策について点検する。
9 漏えい等の事案の対応規程・マニュ	アル等の内容
	名 称
	内容
(1) 11-11-11-11	
(1) 対応規程・マニュアル等が ある場合	
-3 3 W H	
	(漏えい等の事案が発生した場合にどのような対応を取るのかについて、なるべく
	具体的に記載してください。)
(2) 対応規程・マニュアル等が	⇒漏えいの疑いありと判断。
<u>ない場合</u>	⇒正確に情報収集を行い発注担当者へ連絡。
	⇒発注担当者から、被害者・警察等への連絡の指示を待つ。
	⇒指示に従い、迅速に行動する。

1	0	個力	情報を	・取り扱	551	1世 建日	部の答	<b>押休制</b>

※ 作業を実施機関の施設内部のみで行い、かつ、受託者が、実施機関所有のPC、タブレット等の電子計算機のみを使用する場合には記入不要です。作業を実施機関の施設内部のみで行い、かつ、受託者所有の電子計算機を使用する場合には、(2)電磁媒体の項目、(4)及び(5)を記入してください。

(4) 次 (6) と 記 (7) (7)	
	作業期間中の入室可能人数
	□上記4の作業者のみ
	☑作業者以外の入室可(☑上記外 <u>70</u> 名 □その他)
	入退室者名及び時刻の記録
(1) 作業施設の入退室管理	□なし (施錠のみ、身分証提示のみ等)
	☑あり □用紙記入
	☑ICカード等によりID等をシステムに記録
	□カメラや生体認証等により特定個人の入退室時刻を記録
	□その他 ( )
	□その他(
	紙媒体 ☑鍵付き書庫 □耐火金庫 □専用の保管室
   (2) 個人情報の保管場所	□その他(
(4) 個人情報 (2) 体育物//	電磁媒体 ☑鍵付き書庫 □耐火金庫 □専用の保管室
	□その他(
   (3) 作業施設の防災体制	□常時監視 □巡回監視 □耐火構造 <b>☑</b> 免震・制震構造
(6) 目 水池版。2月5人計劃	□その他(
	紙媒体
	アタッシュケース等の暗証番号等の容易に開けられない鞄にて運搬し、窃盗、放置
	等の無いよう常時携帯する。
(4) 個人情報の運搬方法	
	電磁媒体
	アタッシュケース等の暗証番号等の容易に開けられない鞄にて運搬し、窃盗、放置
	等の無いよう常時携帯する。
	紙媒体
	シュレッダー後、廃棄。
(5) 個人情報の廃棄方法	GB TWARF (A.
	電磁媒体
	シュレッダー後、廃棄。
(6) 施設外で作業を行う場合の個	
人情報保護対策(行う場合の み記入)	
° ЛПС/ ()	
	ı

11	電算処理における個人情報保護対策					
	※紙媒体しか取り扱わない業務を行う場合は記入不要です。					
	※実施機関所有のPC、タブレット等の電子計算機のみを使用する場合には記入不要です。					
		☑限定している (ノート型 1 台、デスクトップ型 1 台)				
	(1) 作業を行う機器	□限定していない				
	(2) 外部との接続	□作業機器は外部との接続をしていない				
		☑作業機器は外部と接続している				
		接続方法:☑インターネット □専用回線 □その他( )				
		通信の暗号化:☑している □していない				
		☑ID・パスワード付与によりアクセス制限をしている				
	(A)	I Dの設定方法 ( 管理者による付与 )				
	(3) アクセス制限	パスワードの付け方 ( 大文字小文字8ケタ )				
		□ID・パスワード付与によりアクセス制限をしていない				
	(4) 不正アクセスを検知するシス	☑あり (検知システムの概要:アバスト)				
	テムの有無	ロなし				
	(5) マルウェアを検知するシステ	☑あり (検知システムの概要:アバスト)				
	ムの有無	ロなし				
	(a)	☑常に最新のものに自動アップデートするものとなっている				
	(6) ソフトウェアの更新	□上記以外(				
	(-) ) )	☑アクセスログをとっている(1年保存)				
	(7) アクセスログ	□アクセスログをとっていない				
		☑無停電電源装置 □電源の二重化				
	(8) 停電時のデータ消去防止対策	□その他( )				
		ロなし				
	(9) その他の対策					
1.0		□あり				
	2 外国における個人情報の取扱いの <sup>-</sup> 無	□外国のサーバ上に個人情報が保存されているが、外国のサーバ上での個人情報				
13.700		の取扱いはない				
※ 実施機関所有のPC、タブレット 等の電子計算機のみを使用する場合に は記入不要です。		□外国のサーバ上に個人情報が保存されており、外国のサーバ上で個人情報を取り扱っている				
		☑なし				
		※「あり」の場合は、以下も記入してください。				
	   (1) 個人情報の取扱いがある外国					
	の名称					
	(2) 当該外国における個人情報の					
	制度・保護措置等					